

[東京工業大学 1956 年 幾何 2]



三角形 ABC において $\angle B$, $\angle C$ の二等分線が対辺と交わる点をそれぞれ D , E とし, これらの二等分線の交点を I とする。もし ID と IE とが相等しいならば, 三角形 ABC はどんな形であるか。



I は $\triangle ABC$ の内心なので AI は $\angle A$ の二等分線である。

$\triangle AID$ と $\triangle AIE$ において

- $\angle DAI = \angle EAI$
- $IE = ID$
- AI は共通

であるから

① $\triangle AID \equiv \triangle AIE$

② $\angle AEI = \angle ADI = 90^\circ$

のいずれかである。

(i) ①のとき

$\triangle ABD$ と $\triangle ACE$ において

- $AD = AE$
- $\angle ADB = \angle AEC$
- $\angle A$ は共通

であるから $\triangle ABD \equiv \triangle ACE$ である。よって $AB = AC$

このとき, $\triangle ABC$ は二等辺三角形になる。

(ii) ②のとき

$$\angle AEI = \angle B + \frac{1}{2} \angle C = 90^\circ, \quad \angle ADI = \angle C + \frac{1}{2} \angle B = 90^\circ \quad \text{より}$$

$$\frac{3}{2} \angle B + \frac{3}{2} \angle C = 180^\circ \quad \text{から} \quad \angle B + \angle C = 120^\circ$$

よって, このとき $\triangle ABC$ は $\angle A = 60^\circ$ の三角形になる。

以上より, $\triangle ABC$ は「 $AB = AC$ の二等辺三角形」または「 $\angle A = 60^\circ$ の三角形」

